

西条市公立保育所等再編整備計画(案)概要

1 計画の策定にあたって

【計画策定の要旨】

西条市の就学前教育・保育については、「西条市総合計画」、「西条市子ども・子育て支援事業計画」、「西条市公共施設等総合管理計画」の3つの計画の中で施策を進めてきた。しかし、少子化に伴う就学前人口の減少が見込まれるなか、公立保育所、認定こども園、幼稚園については、今後約20年の間に耐用年数を迎えることになり、就労を希望する保護者の増加など、子どもを取り巻く環境や家庭の求めるニーズも大きく変わり、公立幼稚園では域内児童数の減少など様々な課題が生じている。こうした状況を踏まえ、将来にわたり持続可能な教育・保育サービスの提供体制を構築していくため、教育・保育の需要に見合った適切な施設数、定員規模等を検討した施設の再編計画を策定する。

【再編整備の対象施設】

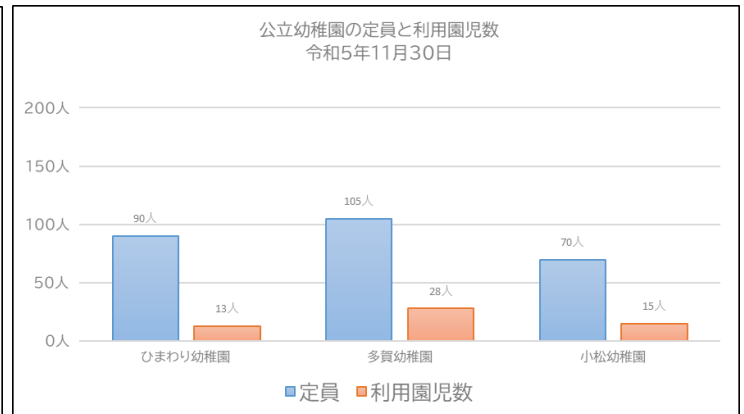
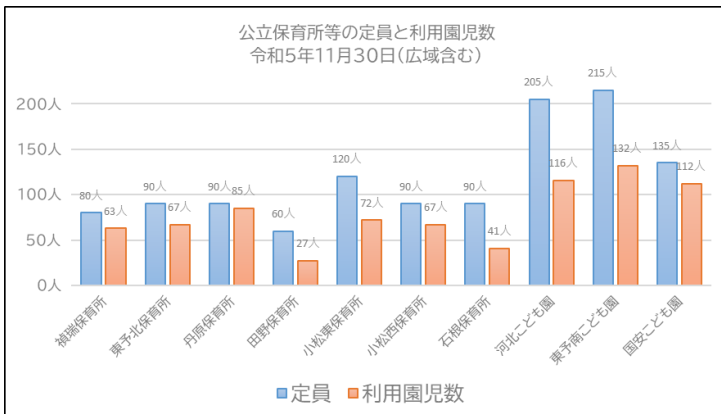
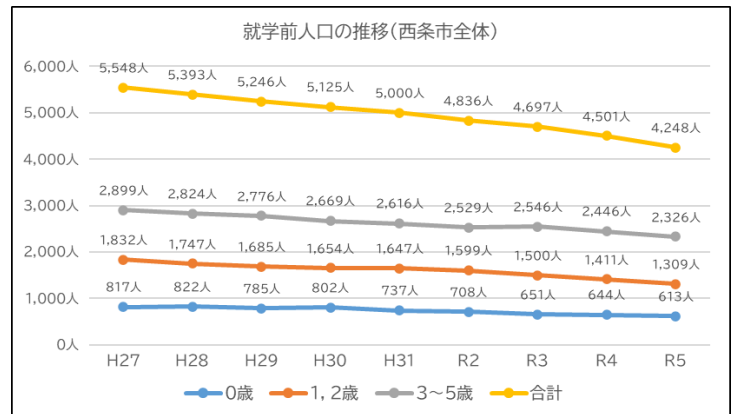
| 提供区域 | 施設名 | 建築年度 | 構造 | 新耐震・旧耐震 | 耐震及び改修歴 | 耐用年数満了年度 | |
|-------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|---------------------|-----------|
| 西条西部 | 禎瑞保育所 | 1986(S61) | 鉄筋コンクリート | 新 | - | 2033(R15) | |
| | ひまわり幼稚園 | 1980(S55) | 鉄筋コンクリート | 新 | - | 2027(R09) | |
| 東予 | 東予南こども園 | 2003(H15) | 木造 | 新 | - | 2025(R07) | |
| | 多賀幼稚園 | 1996(H8) | 鉄筋コンクリート | 新 | - | 2043(R25) | |
| | 東予北保育所 | 1995(H7) | 鉄筋コンクリート | 新 | - | 2042(R24) | |
| | 国安こども園 | 1993(H5) | 鉄筋コンクリート | 新 | - | 2040(R22) | |
| | | 2020(R2) | 木造 | 新 | - | 2042(R24) | |
| | 河北こども園 | 1985(S60) | 鉄骨造 | 新 | - | 2019(R01) | |
| | 2016(H28) | 木造 | 新 | - | 2038(R20) | | |
| 丹原 | 丹原保育所 | 1996(H8) | 木造 | 新 | - | 2018(H30) | |
| | 田野保育所 | 1990(H2) | 鉄骨鉄筋コンクリート | 新 | - | 2037(R19) | |
| | 小松 | 小松東保育所 | 1979(S54) | 鉄筋コンクリート | 旧 | H30改修済み(SRF) | 2026(R08) |
| | | 小松西保育所 | 1978(S53) | 鉄筋コンクリート | 旧 | H25改修済み(SRF) | 2025(R07) |
| | | 小松幼稚園 | 1980(S55) | 鉄筋コンクリート | 旧 | H25改修済み(SRF) R3耐震診断 | 2027(R09) |
| 石根保育所 | 1981(S56) | 鉄筋コンクリート | 新 | - | 2028(R10) | | |

2 就学前児童を取り巻く現状と課題

【子どもの数の減少】

少子化に伴う就学前人口の減少から公立保育所等利用園児数は、減少傾向にある。また、教育・保育提供区域ごとの利用園児数の推計にもあるように、将来的にも減少することが予測される。特に公立幼稚園の利用園児数については減少が著しく、各提供区域ごとに施設のあり方を検討する必要がある。

【公立保育所等の利用園児数の状況】



公立保育所・公立認定こども園の定員に対する利用園児数(充足率)は、令和5年11月30日現在、丹原保育所で94%を超えており、国安こども園、禎瑞保育所、東予北保育所、小松西保育所で70%を超えている状況である。

公立幼稚園の定員に対する利用園児数(充足率)は、令和5年11月30日現在、ひまわり幼稚園で14.4%、多賀幼稚園で26.7%、小松幼稚園で21.4%となっており、減少傾向が続いている状況である。

3 公立保育所等再編整備計画

「公立保育所等の再編の基本方針」に基づく再編計画

私立保育園等への意向調査から今後の就学前児童の推移や保育の量の見込みを考慮した場合、定員規模や規模の拡縮を問わず、認定区分ごとの定員の見直しを考えている施設があり、公立保育所等は定員等について維持し補完的機能を担うものとする。

【西条西部区域】

《・禎瑞保育所・ひまわり幼稚園》

ひまわり幼稚園の利用園児数が減少していること、また、禎瑞保育所及びひまわり幼稚園ともに、現在の施設が愛媛県浸水想定区域内に位置していることから、利用園児の安全・安心を確保するためにも、設置場所も含めた両施設の統合等について検討する必要がある。

【東予区域】

- ・東予南こども園 区域内の東予東中学校区において中心的に教育・保育を提供する施設であり、公立教育・保育の拠点施設として位置付け、施設整備等を実施し維持していくものとする。
- ・多賀幼稚園 11月30日現在の充足率が26.7%と利用児童数の減少が見られ、将来の利用園児数についても今後さらに減少することが見込まれるため、将来的には同中学校区に設置されている東予南こども園への統合を検討する。
- ・東予北保育所 ある一定の利用園児数は確保されており、継続した運営を実施する施設として位置づける。
- ・国安こども園 区域内の東予西中学校区において中心的に教育・保育を提供する施設であり、公立教育・保育の拠点施設として位置付け、施設整備等を実施し維持していくものとする。
- ・河北こども園 区域内の河北中学校区において教育・保育を提供する唯一の施設であり、公立教育・保育の拠点施設として、施設整備等を実施し維持していくものとする。

【丹原区域】

- ・丹原保育所 区域内の丹原東中学校区において中心的に教育・保育を提供する施設であり、公立教育・保育の拠点施設として位置付け、施設整備等を実施し維持していくものとする。
- ・田野保育所 11月30日現在の充足率が45.0%と利用児童数の減少が見られ、将来の利用園児数についても今後さらに減少することが見込まれるため、将来的には同中学校区に設置されている丹原保育所への統合を検討する。

【小松区域】

《・小松西保育所・小松幼稚園・小松東保育所》

小松小学校区における3施設については、SRF工法にて補強はされているものの旧耐震の建築物であり令和7年度から令和9年度の間で耐用年数の満了を迎える。

小松幼稚園の利用園児数の減少状況と小松西保育所の今後の利用園児数の状況、建築後45年を経過する施設の老朽化を踏まえ、小松幼稚園の園舎を増築して両施設を統合し、『(仮称)小松認定こども園』として整備する。

また、小松東保育所についても、利用園児数が定員の50%程度に減少する時期を目前に、同こども園との施設統合を検討する。

- ・石根保育所 令和5年11月30日現在の充足率は45.6%であり、利用園児数については、今後減少が見込まれるため、将来的には同中学校区に整備されるこども園との施設統合を検討する。

今後における国の施策や「第3期西条市子ども子育て支援事業計画」において示される教育・保育の今後の方向性や量の見込みについて必要に応じた見直しを行うものとする。